

戦略重点科学技術(7)

大量の情報を瞬時に伝え 誰もが便利・快適に利用できる 次世代ネットワーク技術

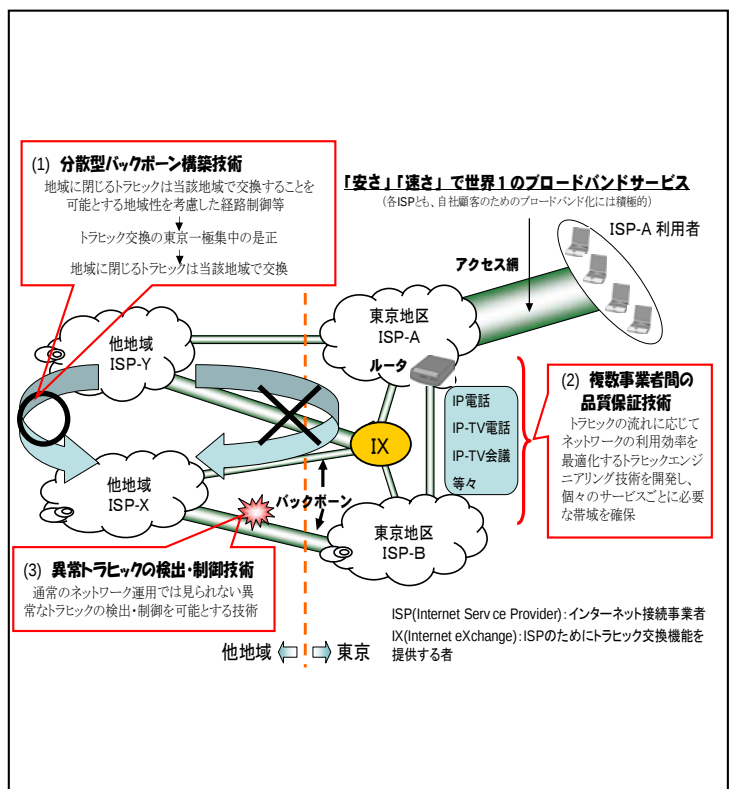
戦略重点科学技術(7) 大量の情報を瞬時に伝え 誰もが便利・快適に利用できる次世代ネットワーク技術

施策名： 次世代バックボーンに関する研究開発 【総務省】

平成21年度対象予算案：1,018百万円
(平成20年度対象予算：1,296百万円)
実施期間：平成17～21年度
(予算総額：8,234百万円)

○情報通信インフラの強化を図るとともに、高度な利活用に対応する超高速ネットワーク環境を整備するため、以下の技術の研究開発を推進する。

- ①分散型バックボーン構築技術
- ②複数事業者間の品質保証技術
- ③異常トラフィック検出・制御技術

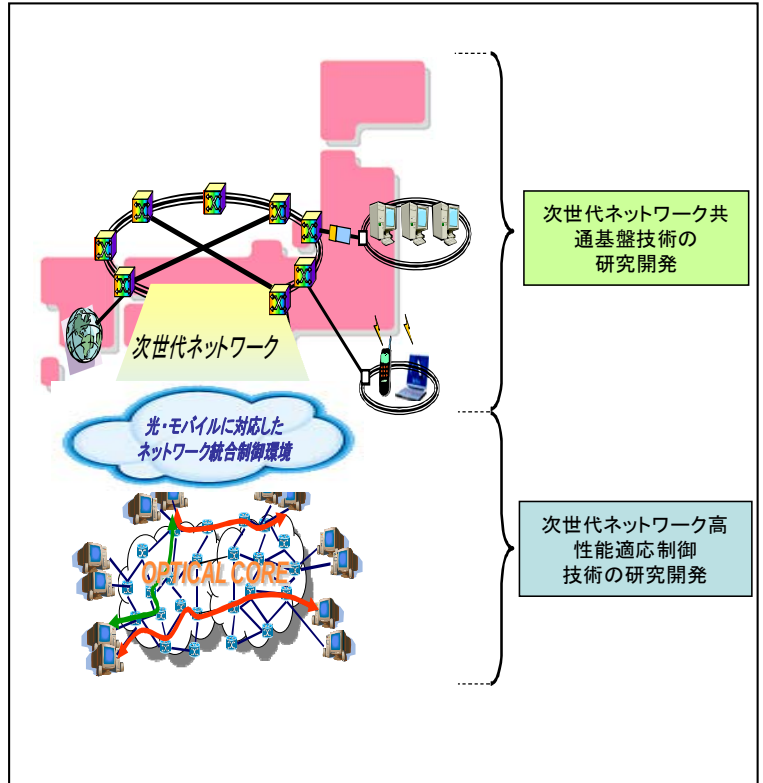


施策名: 次世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発【総務省】

平成21年度対象予算案: 2,617百万円
(平成20年度対象予算: 3,001百万円)
実施期間: 平成18~22年度
(予算総額: 19,800百万円)

○ユビキタスネットワーク社会の基盤となる次世代ネットワークの国際展開を、国際標準化を通じてリードしていくため、以下の高度化技術の研究開発を総合的に実施する。

- ①次世代ネットワーク共通基盤技術の研究開発
- ②次世代ネットワーク高性能適応制御技術の研究開発



施策名: フォトニックネットワーク技術に関する研究開発【総務省】

平成21年度対象予算案: 3,602百万円
(平成20年度対象予算: 3,637百万円)
実施期間: 平成17~24年度
(予算総額: 28,899百万円)

○多様化・増大しつつける通信需要に対応し、ネットワークの大容量化・高機能化を図るとともに、将来のオール光通信実現に向けた基盤技術の確立を目標として、以下の課題につき、戦略的に研究開発を行う。

- (1)超大容量光ノード技術
- (2)光波長ユーティリティ技術
- (3)光波長アクセス技術
- (4)集積化アクティブ光アクセスシステム
- (5)ユニバーサルリンク技術
- (6)全光ネットワーク基盤技術
- (7)極限光ネットワークシステム技術

